

九州運輸局メールマガジン

平成22年10月28日 第103号（発行日：毎週木曜日）

～九州の明日を拓く運輸と観光～

九州運輸局HPアドレス <http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/>

いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。

次号は、11月11日（木）に配信いたします。

目次

1 九州運輸局ホームページアップ情報（10月21日～10月27日掲載分）

各種情報

各種手続き

その他の情報

分野別情報

報道発表

おすすめ情報

2 現場レポート

1 九州運輸局ホームページアップ情報（10月21日～10月27日掲載分）

各種情報

《入札・契約情報》

・企画競争実施予定情報の公表について（10/26現在）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/koukyou/kikakukyousou_101026.pdf

・物品・役務入札公示（10/26付け）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/list.html#BUPPIN_CHOTATSU

・入札結果の公表（平成22年9月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/nyusatsu_kekka/1009.pdf

・企画競争結果の公表（10/18付け2件）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/kikaku_kekka/101025.pdf

- ・ 契約結果に係る情報の公表（競争入札：平成22年9月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/keiyaku_kekka/1009k.pdf

《九州統計情報》

- ・ 自動車保有車両数（平成22年9月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/syaryosuu2209.pdf

- ・ 新規登録自動車数（平成22年9月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/shinkitouroku2209.pdf

- ・ 燃料別等自動車保有台数（平成22年9月分）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/toukei/j_touroku/nenryoubetsu22_9.pdf

各種手続き

《海技試験合格者発表》

- ・ 海技免状等の国家試験（筆記試験合格発表）

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kaijoanzen/file13/goukaku22_10_04.pdf

その他の情報

《リンク集》

- ・ 社団法人九州海事広報協会の追加

<http://www.disclo-koeki.org/10a/01043/index.html>

- ・ 九州旅客船協会連合会の追加

<http://www.q-ship.jp/link.html>

分野別情報

《公共交通活性化》

- ・ 九州における今後の交通のあり方に関する検討会（第3回検討会）

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file16.html>

報道発表

- ・ 長崎電気軌道(株)に対する警告について

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-1022-anzensidou.pdf>

おすすめ情報

《交通環境・物流・バリアフリー関係》

・バリアフリー推進セミナー in べっぶを開催します

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-1014-shougyou.pdf>

2 現場レポート

「ぜひ、内航船への再就職を」

～佐世保地方総監部において海上自衛官を対象とした内航海運合同企業説明会を開催！！～

四面を海に囲まれている我が国にとって、海上輸送は国民生活の安定のために大重要な輸送手段です。九州運輸局では、海上輸送のために必要な船舶の運航に従事する船員を対象とした行政を所掌しています。

現在、外航海運においては、外国人船員との混乗等による日本人船員の減少、内航海運においては船員の著しい高齢化や後継者不足の問題を抱えており、船員の確保・育成が急務となっています。

内航船と呼ばれる日本国内での人や物資の輸送を担っている船舶も、「いずれ船員不足により停まる日がくるのでは」とまでいわれています。

こういった状況の中、船員の確保・育成対策の一つとして10月19日に佐世保市内にある海上自衛隊佐世保地方総監部において、内航海運事業を行っている事業者と退職を間近にし、再就職を検討している海上自衛官との間で、互いに直接話をし、再就職への準備段階として疑問や不安に思うことを尋ねることのできる説明会を開催しました。

自衛官の参加者47名は、豊富な海上経験者とはいえ、内航海運業界の仕組みや船内での生活、組織、労働状況等を初めて耳にする方も多く、今までの労働環境とは違う点など、より現実的な話を聞いて海運業界をグッと身近な業界として認識できる機会となりました。

また、海運事業者5社の皆さんも前述の船員不足の危機的な状況を回避するため

に、積極的にPRを行われ、自衛官の皆さんの海上経験やすでに取得されている海技資格などを踏まえて、効率化の進む船内運航組織の中、即戦力を求める状況下での船員確保に向けての強い意欲が感じられました。

九州運輸局としても船員の求人状況等最近の雇用情勢、海技資格制度の説明に加えて、就職相談ブースを設置し、船員職業安定所としての役割、手続き等その窓口活用の説明をおこない、退職年齢の比較的早い海上自衛官の皆さんが、再就職の職業として船員を選択され、運輸局の紹介等によりスムーズな再就職ができるよう努めました。

これらの成果は今後の話ではありますが、求人、求職の二つの面から、今後とも雇用の開拓、拡大を図り、内航船が停まる日が来ないように事業者、各海運関係団体、行政機関が連携して対策に取り組む必要があります。

当日の説明会の模様は、以下のURLからご覧になれます。

http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_103_1.pdf

(佐世保海事事務所)

鉄道シンポジウムを開催

10月19日、福岡市のソラリア西鉄ホテルにおいて、「第19回鉄道シンポジウム」を開催しました。

このシンポジウムは、「鉄道の日」記念事業として国土交通省及び独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構の共催で鉄道利用の促進について理解と関心を深めていただくため、毎年開催しており、九州では9年ぶり3回目の開催となります。

今回のシンポジウムは、九州新幹線の全線開業を目前に控え、沿線地域における2次アクセスの充実、都市機能の強化や観光エリアの磨き上げ、そして少子化・過疎化に伴い利用者が減少していく中での、鉄道の維持・発展を促すための魅力向上の方策等をテーマとしました。

JR九州の唐池社長より「九州新幹線とまちづくり」と題した基調報告をいただ

いた後、パネルディスカッションでは「地域を拓くレイルウェイ～新幹線から広がる九州の鉄道文化～」と題し、オフィスフィールドノートの砂田光紀氏をコーディネーターに、JR九州の唐池社長、西日本鉄道の竹島社長、工業デザイナーの水戸岡鋭治氏、阿蘇地域振興デザインセンターの坂本英俊事務局長、NPOまちづくりフォーラムがごしま探検の会の東川隆太郎氏の各氏から、鉄道や観光、まちづくり等様々な角度からのお話をいただきました。

会場には、鉄道ファン、交通事業者、自治体の職員、観光関係者等が多数来場し、400名を収容する会場は満席で、その関心の高さが伺えました。

九州運輸局では、「鉄道の日」(10月14日)を含め、10月を「九州レイルマンス」と位置づけ、人々に「便利」で「安全」で「楽しい」鉄道を再認識していただくため、管内の鉄道・軌道事業者が実施する様々なイベントを応援しています。

残りわずかですが、皆様も各種イベントに参加して鉄道の良さを感じてみませんか。

各社イベント情報はこちら

<http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2010-0927-keikaku.pdf>

(鉄道部 計画課)

平成22年九州運輸局長表彰式～自動車及び観光関係功労者～を開催しました

九州運輸局は、平成22年10月22日(金)西鉄グランドホテルにおいて、自動車及び観光関係の各分野で長年にわたり顕著な功績や他の模範として推奨すべき業績をあげられた方々に対する「平成22年自動車及び観光関係功労者九州運輸局長表彰式」を開催しました。

表彰式には、受賞者201名、53社と関係団体より16名の来賓及び受賞者のご家族や随行者など約300名の参列をいただき、玉木九州運輸局長から受賞者及び受賞されたご家族並びに職場の方々に対する感謝とお祝いの式辞があり、続いて各部門の受賞者を代表して15名の方々へ表彰状が授与されました。

続いて、来賓を代表して、自動車関係より九州トラック協会の原会長、観光関係より九州観光推進機構の高橋副本部長から「本日の受賞を機に一層の活躍と後進の育成に御尽力いただきたい。」との激励の祝辞がありました。

引き続き、受賞者を代表して、自動車関係より(社)鹿児島県バス協会の西村理事、観光関係より小国ツーリズム協会の宮崎会長から、「受賞者一同、今後も公共交通や地域振興に全力を挙げて取り組む所存です。」との謝辞があり、式典は華やかな中にも厳かな雰囲気のもと凜然と執り行われました。

最後は、参列者全員から受賞者へ盛大な拍手をもって式典は閉会いたしました。

なお、平成22年の受賞者数は次のとおりです。

自動車関係

- ・団体役員部門・・・・・・・・・・ 8名
- ・事業役員部門・・・・・・・・・・ 52名
- ・従業員部門・・・・・・・・・・ 52名
- ・運転者部門・・・・・・・・・・ 40名

統計調査員関係・・・・・・・・・・ 11名

整備関係(整備士)・・・・・・・・・・ 25名

整備関係(環境指向型事業場)・・・・・・ 53社

観光関係

- ・団体役員部門・・・・・・・・・・ 1名
- ・観光カリスマ部門・・・・・・・・・・ 1名
- ・事業役員部門・・・・・・・・・・ 3名
- ・女将部門・・・・・・・・・・ 3名
- ・従業員部門・・・・・・・・・・ 5名

表彰式の模様は、以下のURLをご覧ください。

http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_103_2.pdf

受賞者名簿

<http://wwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2010-1027-jinji2.pdf>

(総務部人事課)

【編集部より】

編集部では、運輸と観光行政に関する取組や話題、イベントの案内等、地域の情報を募集しています。お気軽にお寄せください。

九州運輸局メールマガジン編集部（九州運輸局総務部内）

mail : mm-kyushu@qst.mlit.go.jp

Tel : 092-472-2312 Fax : 092-471-7192

九州運輸局メールマガジンのバックナンバー閲覧はこちらから
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/top.html